

【分科会 14】働く仲間と語り合おう ～働くためのアイデア集～

黒石文・藤田彰宏・小野澤潤・森藤裕子・神崎清・古土井利明

坂本篤・磯野匡司・起き上がりこぼし・からあげ(働く人のミーティング CAT)

大島みどり・渡邊未来・荒木翔・伊藤友里(NPO法人 NECST 障害者就職サポートセンタービルド)

本分科会は、障害者就職サポートセンタービルドにて毎月行われている「働く人のミーティング CAT」から有志を募り、実行委員会をつくって、企画から取り組みました。当事者、支援者、家族などの立場を超えて、意見交換をして、元気になって帰ってもらえるような企画にしたいという思いで担当させていただきました。

はじめに、障害者枠で働いている CAT メンバー2名の体験発表を行いました。病気を発症してから再び働き出すまでの不安な気持ちや苦労がありながらも働き続ける理由、働くことで自分らしい生活が送れていることなど、働きたくても一歩踏み出せない状態にある仲間にエールを送るような内容でした。

次に、「働くためのアイデア集」というテーマでグループディスカッションを行っていただきました。「仕事でつまずくところ」、「職場に相談相手はいますか」、「働き始めて変わったこと」、「今の仕事の満足度(%)」、「体調管理のためにやっていること」、「働く上で配慮してほしいこと」の6つのテーマが書かれたさいころを使って、各々の考えや工夫などを話し合いました。障害の有無や働いた経験年数などに関わらず、現在の自分に向き合い、率直な思いを伝えあっていただきました。

最後に、グループで話し合っただけでまとめた「働くためのアイデア集」を発表していただきました。グループによって、話し終えたテーマの数や盛り上がったテーマが違って、多様にディスカッションが行われたことがわかりました。

(参加された方の感想の一部)

- ・ 職場に相談できる人がいるのは、大事だと思いました。
- ・ 豊富なアイデアが出て良かった。活発に話し合いができた。
- ・ ストレスがありつつも働ける方が沢山いるのを知って、勇気づけられました。
- ・ 「仕事でつまずくところ」の意見をもっと聞きたかった。

《大島みどり (NPO法人 NECST 障害者就職サポートセンタービルド)》